

エビデンスに基づく グローバル共同研究に 助成します

新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックが世界各国で甚大な人的・経済的・社会的影響を及ぼすとともに、その対処を通して政治・経済、法制度、科学技術、国際関係など様々な分野において多くの脆弱性や課題が浮き彫りになりました。

現在、国際社会は COVID-19 禍収束への努力とともに、よりレジリエントな社会の構築に向け、COVID-19 禍からの教訓と知を共有する必要があります。

公益財団法人日立財団は、これまで学術・科学技術の振興に貢献するべく、科学技術領域のみならず人文・社会科学領域の研究者への研究支援も主要な事業として実施してきました。

今般、株式会社日立製作所ならびに同社役員、従業員、グループ会社役員からの寄付によって本基金を新設しました。本基金は、COVID-19 禍への対処において顕在化したさまざまな問題をエビデンスに基づき学術的に調査、分析、考察し、その知見を国際的に共有することをめざす研究に対して助成するものです。

主要応募条件

- 複数の研究者による共同研究提案であること。
- 研究代表者は、日本国内の大学や研究機関（株式会社は除く）に所属していること。
- 研究チームには、必ず海外の大学または研究機関に所属している研究者が含まれていること。

助成分野

臨床研究や生物医学的研究ではなく、COVID-19 禍が市民生活、政治・経済、法制度、科学技術、地域社会、国際関係などに及ぼした影響についての人文社会科学、政策科学、社会医学的側面からの調査分析や国際比較調査分析などします。必ずしも COVID-19 の感染症に限定するものではありません。

助成金額 総額 1 億 5,000 万円

助成期間 2021 年 12 月から最長 3 年間

募集期間 2021 年 4 月 1 日～ 6 月 30 日

